

滋賀県立県民交流センターの利用について

ホテルピアザびわ湖では、新型コロナウイルス感染症の宿泊療養施設を運営していますが、次のとおり、ゾーニングを行っており、県民交流センターは安全に利用できます。

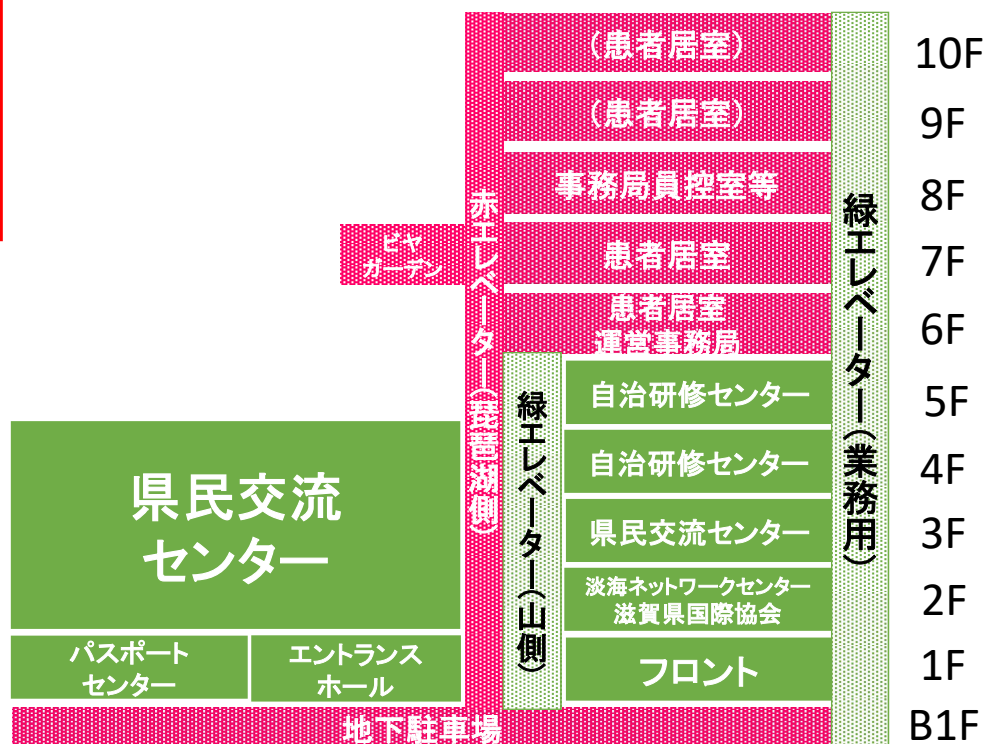
赤エリア

関係者以外
立入禁止

緑エリア

安全です

マスクの着用、
手指の消毒など、
一般的な感染対策
は行ってください。



◆ 1～5階は緑エリアです。安全です。

- ・ 1～5階までの空調と、6～10階までの空調は分かれています。
- ・ 1～5階の移動は、緑エレベーター（山側）か、エスカレーターを利用してください。患者が、緑エレベーターに乗ったり、緑エリアを通ることはありません。
- ・ 赤エレベーター（琵琶湖側）は1～5階には止まりません。

◆ 赤エリアは感染のおそれがあります。関係者以外、立入禁止です。

- ・ マスクの着用や手洗い、換気など、一般的な感染対策には努めてください。
- ・ 患者は、赤エレベーター（琵琶湖側）を使い、地下駐車場から居室まで上がります。地下駐車場、琵琶湖側エレベーター、6階以上は赤エリア（感染のおそれがあるエリア）としています。

より重症の患者さんの病床を確保するため、県民の皆様の御理解・御協力をお願いします。

よくあるご質問

① 県民交流センターでの会議やイベントの参加者、国際協会などに来られる相談者など一般の方への、感染の危険はないのですか。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症は、患者の鼻水やつばなどに含まれるウイルスが、会話やくしゃみなどをしたときのしぶき（飛沫）と一緒に、他の方の目・鼻・口に入って感染したり（飛沫感染）、そのしぶきが手や机などの身の回りのものにくっつくことによりウイルスに汚染され、それを手で触った方が自分の目・鼻・口・顔などにさわることで感染します（接触感染）。
- ◆ ホテルピアザびわ湖で療養する患者さんは、地下駐車場から直接6階以上にある居室に移動し、退所するまでは6階から下に降りることはありませんので、1階から5階を歩いたり、1階から5階にあるものを触ったりすることはありません。このため、患者から直接感染する危険はありません。

② エアロゾル感染が心配ですが、赤エリアの空気が緑エリアに流れてきて感染することはないのですか。

- ◆ ピアザ淡海の空調は、1階から5階までと、6階以上で分かれています。赤エリアの空気が緑エリアに循環してくることはありません。
- ◆ 赤エリア、緑エリア共に、窓を開けて換気を行っていますが、上層階のウイルスが下層階の窓から入ることはありません。

③ 患者の世話をする職員がウイルスを緑エリアに運ぶことはないのですか。

- ◆ 患者の世話をする職員は、赤エリアでは防護具（フェイスシールド、マスク、手袋、ガウン）を着用します。
- ◆ 赤エリアから出るときは、防護具を捨て、手指を消毒し、清潔な状態になってから緑エリアに戻ります。
- ◆ 職員も、自分や家族を感染させないよう、細心の注意を払い感染防護に努めています。御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。